

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

施策名	生活道路	施策コード 4-1-1	作成主管課	建設課
			関係課	管理課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第4章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり【生活環境】
	小政策	1 だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます
現況と課題	<p>少子高齢化や人口減少の進展、集落の衰退や産業活動の低下、緊急医療体制の確保など、地方部の活力低下や地域格差の拡大が懸念されている中で、地域において安全で快適な移動を実現するため、通勤や通院などの日常の暮らしを支える生活道路は、市民の最も身近な生活基盤となるものです。</p> <p>本市ではこれまで、市民生活の利便性の向上や安全性の確保のため、幹線道路の整備にあわせ、緊急性や必要性を考慮しながら、危険箇所・狭い道路の解消や歩道の整備などを進めるとともに、適切な維持管理に努めてきました。現在は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災によりもたらされた被害を受けて、災害に強いまちづくりの推進とともに、安心・安全な生活道路の整備がより一層求められています。</p> <p>今後は、高齢者や障がい者のみならず、だれもが移動しやすく、かつ、歩きやすい安心・安全な道路環境の構築とともに、緑豊かで潤いのある沿道環境や景観づくりを推進していく必要があります。</p> <p>また、道路里親制度の拡充など市民との協働を視野に入れた適切な維持管理を進めていく必要があります。</p>	
施策目標	だれもが移動しやすく、かつ、歩きやすい安心・安全な道路環境を形成するため、地域の特性を考慮した生活道路の整備を進めるとともに、地域住民等との連携を図りながら迅速かつ確実な維持管理に努めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	事業の早期完成を求める意見や要望が数多くある。
-------------	-------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
地区内の道路環境に満足している市民の割合	市民実感度	44.630	41.080	43.570			
	加重平均値	2.327	2.296	2.365			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		93.400	94.380			
	加重平均値		3.629	3.665			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市道の整備率(改良率)	目標値	%		41.1	41.6	42.1	42.6	43.1
	実績値	%	40.6	41.0	41.2			
	達成度	%		99.76	99.04			
	ベンチマーク							
歩道の整備延長	目標値	m		99,827	101,521	103,326	103,914	104,877
	実績値	m	98,742	102,109	102,336			
	達成度	%		102.29	100.80			
	ベンチマーク							
道路里親実施団体数	目標値	団体		34	43	52	61	70
	実績値	団体	24	30	34			
	達成度	%		88.24	79.07			
	ベンチマーク							
数値指標の考え方	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

指標設定の考え方	通勤や通学などの日常の暮らしを支える生活道路は、「市道の整備率、歩道の整備延長」で把握する。
目標値設定の考え方	道路整備の予算状況を考慮し、施工延長から設定した。

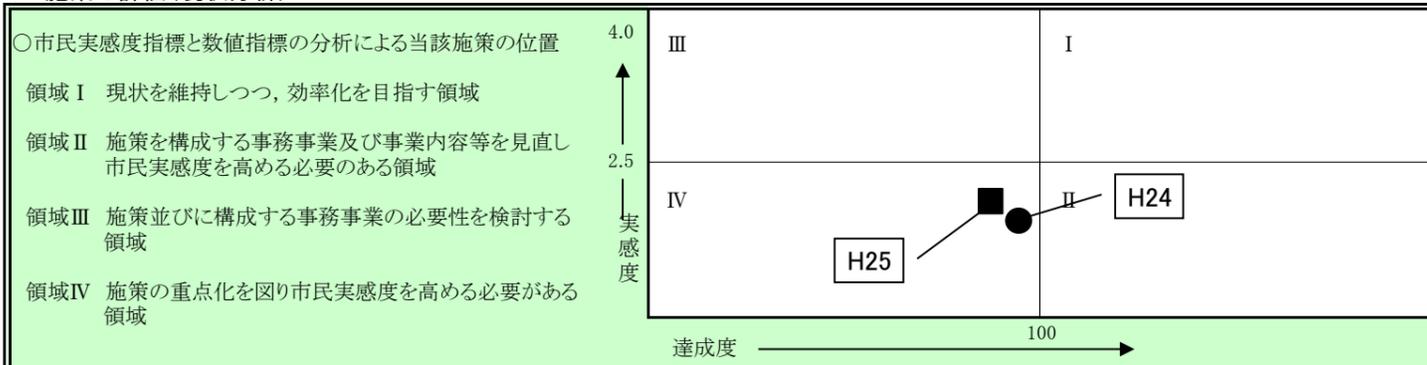
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 道路を供用開始した後の、道路法面の除草作業やごみ拾いなどの維持管理に関すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各事業の早期完成と、地域において安全で快適な移動を実現し交通利便性の向上を目指す。工事費等の経費節減や工事期間短縮を図るとともに、施設の長寿命化を検討する。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 各路線とも説明会、用地交渉等を行い事業の用地取得が進み、13路線の道路改良工事を行い延長約2,800mが完了するなど成果が得られた。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	市道の整備率(改良率)は、目標値に若干達しなかった。施策の評価については、事業の重点化を図り市民実感度を高める必要がある。
-------	---

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	施策を構成する事務事業は、目標に直接働きかけをしていることから構成としては適正である。
------------	---

平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	市民から整備要望が多数寄せられるため、現況の調査を行いながら、より効率の良い事業を進めていくためには、実施する優先順位や時期を明確にする必要がある。
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	平成27年度に向けた施策方針 整備事業の優先順位については、統一した優先順位評価基準を作成し、透明性を確保した道路整備を進める。主要な市道については定期的にパトロールを実施し、路面の痛みが激しく危険な箇所等は早急に対応する。今後も、通勤や通学などの日常の暮らしを支える生活道路は、財源を確保し積極的な道路整備に取り組む。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度
1 芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業 (ギャラリーロード)	だれもが安心して利用できる安全・快適な歩道整備を行うとともに、地域の特性や景観に配慮した特色のある歩道を整備する。	建設・整備事業	観光客が散策できる歩道の形成	m	0	0	115	国補助	17,035	30,360	28,126	2
2 狭あい道路整備等促進事業 幹線区画道路3号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	63	89	100	国補助	56,664	30,539	7,784	2
3 狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)4003号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	159	105	231	国補助	10,197	7,711	14,840	4
4 狭あい道路整備等促進事業 (友)2級2号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	18	28	80	国補助	3,039	15,745	29,098	4
5 狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)2274号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	0	245	255	国補助	1,626	17,249	19,373	4
6 狭あい道路整備等促進事業 市道(岩)Ⅱ級11号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	20	34	100	国補助	6,720	5,501	24,592	2
7 狭あい道路整備等促進事業 市道(岩)Ⅰ級8号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	26	47	100	国補助	3,192	11,578	19,740	2
8 (友)1175号線道路整備事業	南友部地区計画において位置づけされた幹線区画道路2号線として道路整備を行う。	建設・整備事業	整備進捗率	%	0	0	100	市単	0	0	2,562	1
9 市道新設改良事業 笠間地区 箱田稲田線 外6路線	地域住民の利便性や安全性の確保、幹線道路とのアクセス向上、緊急車両等の進入を可能にする道路整備を行う。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	—	735	380	市単	—	50,686	73,823	1
10 狭あい道路整備等促進事業 (友)3266号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	整備進捗率	%	0	0	40	市単	0	0	6,646	4
11 市道新設改良事業	地域住民の利便性や安全性の確保、幹線道路とのアクセス向上、緊急車両等の進入を可能にする道路整備を行う。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	0	0	0	市単	0	0	26,570	1
12 狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)0105号線	生活道路の拡幅による道路、施設の改善によって、歩行者の安全性と住環境の向上を図る。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	0	0	160	国補助	0	6,123	14,668	1
13 狭あい道路整備等促進事業 市道(笠)2089号線	幅員が狭く自動車等の通行に支障をきたしているため、道路整備事業を行い地区住民の生活の向上を図る。	建設・整備事業	狭あい道路の解消	m	0	0	0	国補助	0	0	2,595	4
14 市道認定事業	道路法第8条に伴う道路管理の基幹となるべき業務の執行	義務的事業	認定率	%	100	100	100	—	—	—	—	義務的事業
15 道路水路維持補修事業	道路法第42条により、道路は一般交通の用に供することを目的とするため、常時良好な状態を保持ための維持、修繕を行う。	維持管理事業	要望達成及び不良箇所解消率	%	80	80	80	市単	53,848	209,431	509,855	1
16 道路台帳更新事業	道路法第28条に基づき、道路管理者がその管理業務を円滑に遂行するために道路台帳の調整を行う。	義務的事業	修正路線延長	m	19,040	20,000	22,348	市単	14,753	5,072	13,776	義務的事業
17 道路管理事業	道路管理者がその管理業務を円滑に遂行する	維持管理事業	道路及び法定外占用許可 道路境界確認 道路工事協議	件	408 142 200	488 159 160	557 175 188	市単	9,458	8,244	5,977	1
18 橋梁長寿命化修繕計画策定事業	橋梁の長寿命化及び修繕等の費用の縮減を図る。	計画策定事務	定期点検 修繕計画策定 コスト縮減額	橋 橋 円	40 — —	32 — —	— 72 —	国補助	9,975	21,420	9,240	2
事業費合計									186,507	419,659	809,265	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 生活道路



芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業(ギャラリーロード)
 狭あい道路整備等促進事業 9路線
 市道新設改良事業 2路線
 市道新設改良事業笠間地区箱田稲田線外6路線
 道路水路維持補修事業
 道路管理事業
 橋梁長寿命化修繕計画策定事業

法定受託事務(義務的事業に分類)
 市道認定事業
 道路台帳更新事業

事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 生活道路

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1	2	4
(友)1175号線道路整備事業 市道新設改良事業 狭あい道路整備等促進事業市道(笠)0105号線 市道新設改良事業笠間地区箱田稲田線外6路線 道路水路維持補修事業 道路管理事業	狭あい道路整備等促進事業幹線区画道路3号線 狭あい道路整備等促進事業市道(岩)Ⅱ級11号線 狭あい道路整備等促進事業市道(岩)Ⅰ級8号線 芸術の森公園及び愛宕山周辺整備事業(ギャラリーロード) 橋梁長寿命化修繕計画策定事業	狭あい道路整備等促進事業市道(笠)4003号線 狭あい道路整備等促進事業市道(友)2級2号線 狭あい道路整備等促進事業市道(笠)2274号線 狭あい道路整備等促進事業市道(友)3266号線 狭あい道路整備等促進事業市道(笠)2089号線
3	5	7
6	8	10
9	11	12

成果は高い(上位) 成果はやや高い(中位) 成果は普通(中位) 成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

法定受託事務(義務的的事业に分類)

市道認定事業 道路台帳更新事業

事務事業の成果基準の説明